

2018年1月4日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院歯科口腔外科に、入院手術歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学歯科口腔外科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

口腔外科手術周術期における抗血栓療法患者に対するヘパリンブリッジの有効性に関する多施設共同後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 歯科口腔外科講座 講師 東條格

3. 研究の目的

この研究は抗血栓薬を内服している患者さんの手術に際して行うヘパリンブリッジの合併症の頻度と内容、発症に影響する因子を明らかにすることを目的としています。この要因が明らかになることにより抗血栓療法を行っている患者さんの周術期の安全性の向上につながります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2006年1月1日より2016年12月31日の期間に当院での口腔外科手術の際にヘパリンブリッジを受けた患者さま。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、身長、体重、ヘパリンブリッジによる合併症の有無とその内容、術中出血量、術後在院日数、治癒の経過などに関する情報です。

(3) 方法

過去の診療記録より上記の内容を収集し、ヘパリンブリッジの有効性について検討します。

(多施設共同研究 中央研究機関：信州大学附属病院 その他11施設)

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座 担当歯科医師 東條格

TEL : 073-441-0643 FAX : 073-441-0643 E-mail : kagoky@wakayama-med.ac.jp